

指先のオシャレを楽しもう ベーシックも、遊び心も自在なネイルカラー

2018年8月

美しく整えられたネイルは、手もと全体を美しく見せ、所作までエレガントに演出してくれます。また、顔のメイクは、自分では鏡越しにしか見ることはできませんが、指先は、仕事をしていても家事をしていても、自然と目に入るパーツなので、自分自身の気持ちまで華やかに、ウキウキとさせます。そんな、指先を彩るメインのアイテムがネイルカラー（マニキュア）です。



今回は、カネボウ化粧品美容研究所の原島麻由美が、ネイルカラーを美しく仕上げる基本の塗り方をご紹介しますとともに、夏の気分を楽しむデザインもご提案します。

◆指先のケア

ネイルカラーを塗る方もそうでない方も、指先の保湿ケアはとても大切です。乾燥が進むと、ささくれができたり、爪が割れやすくなったりするので、ハンドクリームやネイルオイルを、爪のまわりにくるくるとマッサージするようになじませましょう。専用のものがない場合は、顔用の乳液やクリームで代用しても構いません。なじませる際に、爪の付け根部分を、軽く押すようにするのもおすすめです。

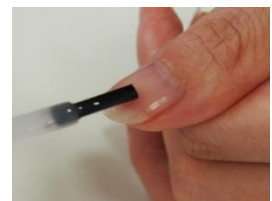
◆ネイルカラーの基本の塗り方

① 爪の表面やまわりの余分な油分をオフ

爪の表面やまわりに余分な油分が残っていると、ネイルカラーがうまくのらなかったり、ムラになったりします。ネイルカラーを塗る前に、ネイルカラーリムーバー（除光液）で、爪の表面やまわりの油分をふき取りましょう。

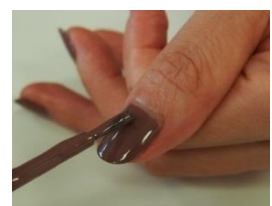
② ベースコート塗る

ネイルカラーの色を塗布する前に、まずベースコートを塗布します。ベースコートは、爪の凹凸を整え、表面をなめらかにすることで、重ねて使用するネイルカラーを均一に、ムラなく仕上げる役割があります。商品によっては、爪を補強する成分の入ったタイプもあります。



③ ネイルカラー塗る

ネイルカラーを筆先にたっぷり含ませ、爪の中央部分の根本から爪先に向かって塗布します。皮ふにはみ出さないように、左サイド、右サイドも同様に塗布します。ネイルカラーは、発色や持ちをよくするために2度塗りが基本です。左右すべての指を塗り終わったら、同じ手順を繰り返します。



爪先端（エッジ）部分にも丁寧にネイルを塗っておくと、先端からはがれにくくなり、持ちがよくなります。

④ トップコートを塗る

ネイルカラーの上に、トップコートを重ねます。トップコートを重ねることで、よりツヤ感がアップしたり、ネイルカラーの持ちがよくなります。最近では、あえてツヤをおさえるマットタイプや、ネイルカラーの色のニュアンスを変えるタイプなどもあるので、さまざま質感を楽しむのもよいでしょう。

◆ネイルカラーの色選び

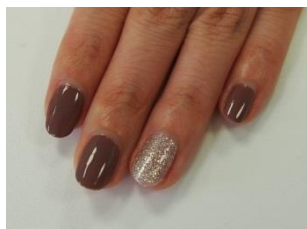
① ベーシック編

手をナチュラルな印象で美しく見せるカラーは、ピンクやベージュ、ブラウンです。今年は、パステル調の明るい色よりも、ややくすんだ色味がトレンドです。“くすみカラー”は、肌の色になじんで上品な印象を与えます。



② 遊び心編

お休みの日には、思い切って鮮やかなカラーを取り入れてみるのも楽しいですね。いくつかの指だけ色を変えてみるなど、デザインもひと工夫してみましょう。例えば、爪先の部分に細いラインを描いて、細めのフレンチネイルをつくるのも今年らしいデザインです。また、鮮やかな色やラメが入った色は、フットネイルにとてもよく映えます。サンダルから見える足先にちらりと見えるキラキラネイルにも、ぜひチャレンジしてみてください。



ワンポイントアレンジ



細フレンチネイル

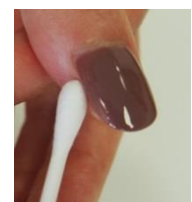


フットネイル

◆ネイルカラーを美しく仕上げ、保つワンポイント

① 修正テクニック

ネイルカラーを塗るのに慣れていない方からは、指の脇や根元にネイルカラーがついてしまうというお悩みもよく聞きます。そんな時には、綿棒が活躍します。綿棒にネイルカラーリムーバーを含ませ、はみ出してしまった部分に置き、すっと一気にふき取ります。こうすると、細かい部分の修正ができ、美しく仕上がります。ネイルカラーを落とすときにも、コットンで落とすきれいな細かい部分をオフできるテクニックです。



② 爪先のはがれやカケが気になったら



爪の先にだけ、ラメが入ったネイルカラーを重ねてみましょう。雰囲気が華やかになるとともに、はがれやカケも目立たなくなります。ラメを重ねたら、さらにその上からトップコートを重ねて塗ると美しく仕上がります。